

稲・大豆作情報 (NO. 7)

1. 水稲作況情報田の生育概況 (8月15日現在)

品 種 場 所	移植日 栽植株数	年 次	現在の生育状況				概況
			草 丈 c m	茎 数 本/m ²	主 稈 出葉数	葉 色 SPAD	
夢しずく 佐賀市本庄町	6/17 18.5株/m ²	本 年	99.4	294	13.1止葉	33.6	8月1~2半旬は高温(+1.5℃)で、日照時間は多く(127%)、降水量は多い(139%) ◇ 平年と比べ、 草丈：すべての品種で高い。 茎数：「夢しずく」「さがびより」は少なく、「ヒヨクモチ」は多い。 主稈出葉数：「夢しずく」「さがびより」は平年並み、「ヒヨクモチ」はやや遅れている。 葉色：「夢しずく」「ヒヨクモチ」は淡く、「さがびより」は濃い。 ★「夢しずく」は出穂期、「さがびより」は、幼穂長10~18mmとなっている。
		平 年	93.1	362	13.2止葉	37.3	
		平年比	(107)	(81)	(-0.1)	(-3.7)	
さがびより 小城市芦刈町	6/20 16.7株/m ²	本 年	94.0	366	13.5	36.4	
		平 年	81.5	452	13.7	35.0	
		平年比	(115)	(81)	(-0.2)	(1.4)	
ヒヨクモチ 小城市牛津町	6/28 19.6株/m ²	本 年	72.4	775	13.2	39.0	
		平 年	67.1	632	13.6	40.7	
		平年比	(108)	(123)	(-0.4)	(-1.7)	

注1) 各品種 前作：麦 注2) 施肥及び病害虫防除は地区基準に準ずる

注2) 平年値は、過去10年間(H24~R3)の平均値

注3) 「夢しずく」「さがびより」は穂肥診断に基づき穂肥施用していない。

◆農業試験研究センター米づくり情報7号 8月12日(抜粋)

移植日	項目 品種	年 次	草 丈 cm	茎 数 本/m ²	葉 齢 L	葉 色 SPAD	概 況 (平年と比較して)
6月17日	夢しずく	本 年	94.7	321	13.8	36.1	[気象] 8月5日~8月11日まで ◆平均気温…平年より1.2℃高い ◆日照時間…長い(平年比117%) ◆降水量…多い(平年比197%) [生育] ◆草丈 「夢しずく」「ヒノヒカリ」でやや高く、「さがびより」「ヒヨクモチ」で高い。 ◆茎数 「夢しずく」「ヒノヒカリ」「さがびより」では少ない。「ヒヨクモチ」では多い。 ◆葉齢 「夢しずく」「さがびより」でやや進んでおり、「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」では平年並みである。「夢しずく」は8/12出穂走り(平年出穂期8/17)) ◆葉色 「夢しずく」では平年並み、「ヒヨクモチ」ではやや濃く、「ヒノヒカリ」「さがびより」では濃い。
		平 年	89.9	399	13.2	36.8	
		平年比(差)	105	80	0.6	-0.7	
6月20日	ヒノヒカリ	本 年	87.0	393	13.4	40.2	
		平 年	82.5	479	13.4	36.9	
		平年比(差)	105	82	0.0	+3.3	
6月20日	さがびより	本 年	84.9	410	13.8	38.6	
		平 年	77.4	485	13.5	34.9	
		平年比(差)	110	85	0.3	+3.7	
6月20日	ヒヨクモチ	本 年	80.4	653	13.7	37.6	
		平 年	71.4	618	13.8	35.7	
		平年比(差)	113	106	-0.1	+1.9	

注1) 耕起概要等は前号参照。

○生育概況

生育は、すべての品種で平年並みだが、いずれの品種も草丈が高く、「ヒヨクモチ」以外は茎数が少ない(情報田)。「夢しずく」は、6/上旬移植で傾穂期、6/中旬移植で現在出穂期(平年-1日)を迎えている。「さがびより」の出穂は、8/末~9/頭の見込みで、平年並みと予想される。

2. 水稲管理

**生育は、全品種 平年並みとなっている。
生育ステージに応じ、水管理・穂肥・病害虫防除を適正に行う。**

○水管理

- ・今年、高温・乾燥で田面のひび割れが大きい圃場が多く、中干し後の湛水が十分にできずに乾燥ぎみとなってしまう圃場が多く見受けられる。
- 現在、「ヒヨクモチ」以外は、幼穂形成期～穂孕み期～出穂期に達しているため、強い水分ストレスを与えないよう間断灌水を励行し、湿潤（黒乾）状態を保つよう注意する。

○今週の管理

さがびより

- ・穂肥の施用時期は、幼穂長5～10mmが基準。
- 幼穂形成期頃の穂肥診断で、穂肥の施用が可能だった圃場は、早急に施用する。
- * 診断基準は、前号参照

ヒヨクモチ

- ・現在、最高分けつ期を迎えている。
- ・穂肥は下記の診断結果を基に施用する。
- ・穂肥施用時は湛水し、その後の間断灌水では、地固めと根に空気を送るため落水期間を確実にとる。地が緩い場合は、落水期間をやや長めにとる。

ヒヨクモチの穂肥施肥基準（分施タイプ）

	穂肥Ⅰ(kg/10a)	穂肥Ⅱ(kg/10a)	実肥(kg/10a)
施用時期の目安	8月16～17日頃 (幼穂形成始期幼穂長1ミリ頃)	8月25～27日 (穂肥Ⅰの10日後)	穂揃期 (9月8日～10日頃)
LPBB804	40	—	—
BB602	25	10	10

※「全量元肥施用田（一発くん）」において、穂肥Ⅰ～Ⅱの時期に **SPADで40を切る場合には**、窒素成分で2kg/10a程度（BB602 10～20kg/10a）施用する。

○病害虫情報(発生および防除)

- 今年のトビイロウンカは、現在のところ6/25、7/8、7/19の飛来が確認されている。
- 8/15の調査において、平坦部の一部圃場でウンカ類の幼虫0.2~0.5頭/株が確認されている。移植時期や品種によっては、より多く発生している可能性があり、さらに今年は高温少雨で経過しているため、トビイロウンカが急増する場合もある。今後もそれぞれで発生状況を確認し、適期適正防除に努める。
- 防除効果が高い時期は、幼虫ふ化揃い期(各幼虫期の前半(図中★))である。
有効薬剤：スタークル・エクシード・エミリア など

発生予測図は気象をもとに随時更新され、変更される場合があるため、以下に示すホームページで最新情報を定期的に確認し、防除の参考にしてください。

<http://www.pref.saga.lg.jp/kiji00368010/index.html>



図1 トビイロウンカ各世代の発生予測(第3版、2022年7月20日作成)

防除する場合は湛水するとともに、薬剤が株元まで十分にかかるように丁寧に散布する。

- 病害虫発生予察情報予報第4号(7/27発表)では、8月は以下の予報が出ているため、今後も発生状況に留意し、適切な管理を行う。

◆紋枯病

- 8月の発生量は、やや多い予測である。
- 生育が良好で、過繁茂状態の圃場では、一気に進展する恐れがあるため、田回りを励行し、病斑が確認された場合は、病斑が上位葉の葉鞘に進展する時期(液剤、粉剤の場合は出穂10~20日前が目安)に防除を行う。



◆斑点米カメムシ類

- 8月の発生量は、やや多い予測である。
- 耕種的な防除として、畦畔除草を出穂10日前までに行う。
出穂後の除草は、水田内に斑点米カメムシ類を誘い込んで被害を助長するため、時期を逸した場合には収穫前まで除草しない(「夢しずく」圃場周辺では実施しない!)
- 山麓部や河川敷付近など、例年発生が多い圃場では田回りを励行し、防除を徹底する。
- 防除はカメムシが穂に上ってくる夕方に行うと効果が高い。

草刈りの時期(目安)	斑点米カメムシ類の防除時期
平坦部さがびより・・・8/20頃まで	◎多発生:「穂揃い期」及び「乳熟期」の2回防除
ヒヨクモチ・・・・・・・・・・8/25頃まで	◎少発生:「乳熟期(出穂の約15日後)」1回防除

3. 大豆管理 ～ 生育に応じた適正管理を ～

○培土

- ・現在、7月中旬播種までの圃場では、培土を済ませている圃場が多く見受けられる。
- ・生育量が小さく、培土を実施していない圃場では、以下の目安を参考に、雑草防除や生育確保のため、培土を実施する。

○実施時期の目安

- 1回目：本葉2～3枚の頃、子葉が隠れる程度におこなう。
- 2回目：本葉4～5枚時に、初生葉（子葉の上の葉）まで隠れるようにおこなう。

※降雨が少なく、今年も“干ばつ”傾向で推移している。

培土は、大豆栽培のうえで重要な作業の一つであるが、気温が高い日中の作業は土壤水分の蒸散を助長するため、作業は夕方以降が望ましい。

○雑草対策

- ・イネ科雑草が多いところでは、ポルトフロアブル、ナブ乳剤等で防除する。
- ・カヤツリグサ科が多い場合は、大豆バサグラン等で防除する。
- ・アサガオ類やホオズキは、繁殖力が強く、放置すると次年度以降の発生量が多くなるため、圃場内はもとよりまくら地や畦で発生している場合は、必ず抜き取り圃場外へ持ち出すか薬剤散布での防除を徹底する。

○病害虫対策

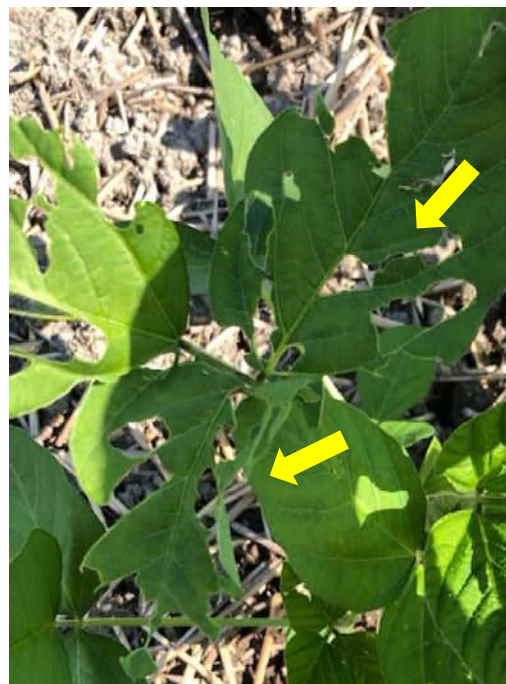
- ・一部の圃場でハスモンヨトウが確認されており、今後ハスモンヨトウの食害による白変葉やその他害虫による食害が発生する可能性がある。

葉に大きな穴が開いた株が目立ち周辺に青虫がいる場合は、オオタバコガによる食害の可能性が高く、稀にシロイチモジヨトウが含まれる場合もある。

防除は、オオタバコガが主流であればプレバソン、ペガサス、シロイチモジヨトウの場合はプレオが効果的。

ノーモルト、トレボン感受性が低いいため、使用を避ける。

また防除にあたっては周辺作物へのドリフトに注意し実施する。



(写真) オオタバコガの食害

